

# 呼吸器センター通信 vol.6

## ■ 第22回北九州呼吸ケア研究会 優秀演題賞受賞について

H29年10月に行われました北九州呼吸ケア研究会において、当院のリハビリテーション科の入江将考さんが優秀演題賞を受賞いたしました。「新小倉病院における肺切除を受けた肺癌患者に対する呼吸リハビリテーション」と題して、発表を行いました。呼吸リハビリを術前、術後に受けた患者さんは、術直後の合併症が軽減するのみならず、長期に渡って他病の発生による合併症が避けられることを示し、術前術後のリハビリの重要性を強調いたしました。最後に、「何より患者さんが、ハードなりハビリ指導に不平も言わず、ついてきてくださり、ありがとうございます」と、コメントを述べていました。



▲ 優秀演題受賞を祝う懇親会

## ■ 井堀公民館における肺がんについての健康講話

H29年10月呼吸器センター長の花桐武志医師が、「肺がん治療の最前線と関連する呼吸疾患」と題して健康講話を行いました。井堀公民館に約30名あまりの皆さんにご参集いただき、和やかな雰囲気の中で、講話が行われました。最近話題の肺がんの免疫療法などを中心に、最新のトピックスについての話がありました。たばこのこと、大気汚染のこと、肺炎球菌ワクチンについてなど、たくさんの質問がありました。



▲ 井堀市民センターにおける健康講話